

農業生産工程管理推進事業交付金事業の事業評価票(平成30年度)

事業実施主体	区分	目標値			事業の成果	国による評価
		目標値	実績	達成度		
茨城県	I 指導体制の構築	50名	58名	116%	指導体制の育成については、年度内に5回の研修会を行うなどにより、58名の実績となった。	GAP認証の新規取得経営体数は、GLOBALG.A.P.を中心に認証機関が新規審査を受け付けていない状況等のため、審査を予定していた60経営体のうち9経営体のみ認証取得にとどまり、成果目標を達成できていない。このことから、団体認証取得に向けた産地での合意形成を一層促進することなどを内容とする目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	60経営体	9経営体	15%	2回の公募を行った結果、13経営体による申請があったが、年度内に審査契約を結べないなどの理由により、実績としては9経営体に留まった。	
栃木県	I 指導体制の構築	20名	14名	70%	一定の知見をもった普及指導員が現地でGAPを指導する際に役に立った。	GAP指導員の新規育成数は、国際水準GAPの実施に向けた指導実績要件を満たせず、成果目標を達成できていない。GAP認証の新規取得経営体数は、GLOBALG.A.P.を中心に認証機関が新規審査を受け付けていないこと等から、審査を予定していた23経営体のうち7経営体のみ認証取得にとどまり、成果目標を達成できていない。このことからGAP指導員の新規育成数の成果目標については、指導実績の蓄積に向け、指導実績未達成者を対象に研修等により指導すること、また、GAP認証の新規取得経営体数に係る成果目標については、団体認証取得に向けた産地での合意形成を一層促進することなどを内容とする目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	23経営体	7経営体	30%	審査費用が助成されることから、金銭的な面でGAP認証取得を躊躇している農業者等を支援することができた。	
群馬県	I 指導体制の構築	7名	7名	100%	JGAP指導員基礎研修を県25名、JA29名が新規に受講。3産地以上を指導したGAP指導員は、県4名、JA3名となり、目標値を達成した。	GAP認証の新規取得経営体数は、GLOBALG.A.P.を中心に認証機関が新規審査を受け付けていないこと等から、審査を予定していた4経営体のうち2経営体のみ取得にとどまり、成果目標を達成できていない。このことから団体認証取得に向けた産地での合意形成を一層促進することなどを内容とする目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	4経営体	2経営体	50%	本事業を活用したGAP認証の新規取得経営体数はJGAPの2経営体に留まった。	
埼玉県	I 指導体制の構築	24名	24名	100%	県職員(普及指導員)24名を研修会に参加させ、JGAP指導員として養成するとともに、既存のGAP指導員についても外部の研修会やシンポジウムに参加させ、GAPに関する新たな知識を学ぶことで指導力を向上させた。	GAP認証の新規取得経営体数は、審査費用の自己負担額を懸念し、GAP認証の取得を見送ったこと等から、成果目標を達成できていない。このことから団体認証取得に向けた産地での合意形成を一層促進することなどを内容とする目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	100経営体	72経営体	72%	GAP認証を取得しようとする農業者等に対し、審査費用等の一部について補助金を交付し、認証取得を支援することができた。	
千葉県	I 指導体制の構築	4名	4名	100%	GAP指導員を育成するため研修会を3回開催するなど事業を実施した結果、4名のGAP指導員を育成した。	GAP認証の新規取得経営体数は、認証取得を予定していた団体が、審査を翌年に延期させたため、成果目標を達成できていない。このことから団体認証取得に向けた産地での合意形成を一層促進することなどを内容とする目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	20経営体	9経営体	45%	公募を3回実施したが、支援対象に予定していた団体が、翌年度に認証取得を延期したことにより、目標の達成には至らなかった。	
神奈川県	I 指導体制の構築	73名	25名	34%	普及指導員及び農協営農指導員等69名がGAP指導員育成研修を受講し、GAP指導員として、普及指導員13人、農協営農指導員が12人育成された。	GAP指導員の新規育成数は、国際水準GAPの実施に向けた指導実績要件を満たせず、成果目標を達成できていない。GAP認証の新規取得経営体数は、GLOBALG.A.P.を中心に認証機関が新規審査を受け付けていない状況等により、審査を予定していた21経営体のうち8経営体のみ認証取得にとどまり、成果目標を達成できていない。このことからGAP指導員の新規育成数の成果目標については、指導実績の蓄積に向け、指導実績未達成者を対象に研修等により指導すること、また、GAP認証の新規取得経営体数に係る成果目標については、団体認証取得に向けた産地での合意形成を一層促進することなどを内容とする目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	21経営体	8経営体	38%	GAP認証を2経営体が新たに取得した。また、県内の農業に関する学科のある高等学校の全5校が、JGAP認証を取得した。	
山梨県	I 指導体制の構築	0名	5名	100%	GAP推進フォーラム、GAP実践セミナーを開催することで、農業者等に対しGAP手法の取り組みの意義やGAPをめぐる国内動向、実践事例等を広くPRするとともに、県普及指導員等を国際水準GAPに係る研修に派遣し、農業者の国際水準GAPの取得に向けた指導・支援体制を確立した。	GAP認証の新規取得経営体数は、自己都合により認証取得審査を延期したことや自己資金による認証取得を行ったため、成果目標を達成できていない。このことから団体認証取得に向けた産地での合意形成を一層促進することなどを内容とする目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	9経営体	5経営体	56%	国際水準GAPの認証取得を志向する農業者等に対し、取得に係る審査費用、環境整備費用等を補助することで、国際水準GAPの導入推進を支援した。	
長野県	I 指導体制の構築	72名	41名	57%	JGAP指導員基礎研修会を3回(8、12、2月)開催し、合計108名が研修受講を通して知識習得できた。	GAP指導員の新規育成数は、国際水準GAPの実施に向けた指導実績要件を満たせず、成果目標を達成できていない。GAP認証の新規取得経営体数は、認証取得の自己負担軽減のため県単独事業を活用して認証取得したこと等により、成果目標を達成できていない。このことからGAP指導員の新規育成数の成果目標については、指導実績の蓄積に向け、指導実績未達成者を対象に研修等により指導すること、また、GAP認証の新規取得経営体数に係る成果目標については、団体認証取得に向けた産地での合意形成を一層促進することなどを内容とする目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	14経営体	4経営体	29%	本事業を活用した新規認証取得経営体数は目標値達成とならなかったが、GAP指導員による指導活動等の結果、H30年度のGAP認証の新規取得経営体数は47経営体となった。	
静岡県	I 指導体制の構築	35名	31名	89%	指導員研修を受講した31人の受講者が産地で指導を行った結果、114農場の新規GAP認証申請に対応して効果的な指導を行うことができた。	GAP指導員の新規育成数は、国際水準GAPの実施に向けた指導実績要件を満たせず、成果目標を達成できていない。GAP認証の新規取得経営体数は、GLOBALG.A.P.を中心に認証機関が新規審査を受け付けていないこと、団体認証取得に向けた合意形成が進まなかったことから、審査を予定していた316経営体のうち114経営体のみ認証取得にとどまり、成果目標を達成できていない。このことからGAP指導員の新規育成数の成果目標については、指導実績の蓄積に向け、指導実績未達成者を対象に研修等により指導すること、また、GAP認証の新規取得経営体数に係る成果目標については、団体認証取得に向けた産地での合意形成を一層促進することなどを内容とする目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	316経営体	114経営体	36%	団体内の合意形成不全や審査会社による新規認証の受付停止等により当初事業要望のあった農業者等が辞退したため、達成度は低くなったが、お茶を中心に事業を活用して114経営体が新たにGAP認証を取得した。	